

## 淡路島産の蝶類について

堀 田 久

淡路島産の蝶類については、1956年に発表したことがあるが(兵庫生物3巻、3号)その当時は、資料も筆者の手許にある標本のみで、記録したのも52種類にすぎなかった。

その後、同好諸賢の活躍によって次第に淡路島の蝶相が明らかにされ、現在では69種類が記録されている。その詳細については、近々、登口邦明氏が発表されることになっているので、ここでは筆者の採集記録を中心にして、淡路産蝶類の概略を述べることにする。

### セセリチョウ科 HESPERIIDAE

1. ミヤマセセリ *Erynnis montanus* (Bremer, 1861)  
4月頃、各地に普通に見られる。
2. ダイミヨウセセリ *Daimio tethys daiseni* Riley, 1921  
各地の山地に普通であるが、個体数はあまり多くない。
3. アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* (Murray, 1875)  
三熊山には多いが、他の地ではまだ採集していない。
4. コチャバネセセリ *Thoressa varia* (Murray, 1875)  
各地に多産する。
5. ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus* G. et R. Felder, 1862  
各地に普通に見られる。
6. キマダラセセリ *Potanthus flavum* (Murray, 1875)  
各地に普通であるが、個体数はあまり多くない。
7. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* (Murray, 1875)  
各地に産し、山地ではセセリチョウの中で最も個体数が多い。
8. チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthuerei* Evans, 1937  
各地に見られるが、個体数はあまり多くない。
9. イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer et Grey, 1853)  
最も普通で個体数も多い。

アゲハチョウ科 PAPILIONIDAE

10. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous alcinous* (Klug, 1836)  
各地に普通で個体数も多い。
11. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer, 1903)  
各地に多産し、三熊山や先山などでは群飛することがある。
12. ミカドアゲハ *Graphium doson albidum* (Wileman, 1903)  
1958年に登日邦明氏が津名郡津名町佐野で1♂を採集されたが、これは迷蝶と思われる。
13. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* C. et R. Felder, 1864  
平地では個体数は少ないが、山地ではかなり見られる。
14. アゲハチョウ *Papilio xuthus* Linnaeus, 1767  
最も普通で各地に見られる。
15. クロアゲハ *Popilio protenor demetrius* Cramer, 1782  
各地に産し個体数も多い。なお、藤平明氏は、1967年に三原郡南淡町黒岩で無尾型の♂を採集しておられる。
16. オナガアゲハ *Papilio macilentus* Janson, 1877  
1955年8月、田中善氏が柏原山麓で目撃されたが、採集記録はないようである。
17. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Siebold, 1824  
これまでに洲本市の安乎、由良、津名郡の志筑、塩田、五色 三原郡の福良、阿万、灘、緑などで採集されている。淡路での定着は確実であるが、洲本市安乎町では、本種の見られる年と全く見られない年とがある。洲本市由良町では春型、夏型とも毎年発生し、個体数も多い。
18. モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler, 1881  
淡路には普通であり、夏型は個体数が多い。
19. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* C. et R. Felder, 1864  
各地に産するが、個体数はあまり多くない。
20. ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii tutanus* Fenton, 1881  
1969年5月、藤平明氏が三原郡南淡町黒岩で1♂を採集された。

シロチョウ科 PIERIDAE

21. キチョウ *Eurema hecabe mandarina* (de l'Orza, 1869)  
最も普通の種で個体数も多い。

22. ツマグロキチヨウ *Eurema laeta bethesba* (Janson, 1878)  
筆者はまだ採集していないが、津名町大町や洲本市千草などで採集されている。
23. モンキチヨウ *Colias erate poliographus* Motschulsky, 1860  
最も普通の種で各地に産する。
24. ツマキチヨウ *Anthocharis scolymus* (Butler, 1866)  
各地に産するが、個体数はそれほど多くない。
25. モンシロチヨウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval, 1836  
各地に多産する。
26. スジグロチヨウ *Pieris melete Ménétriés*, 1857  
各地に普通で、夏の間は山地に多い。
27. エゾスジグロチヨウ *Pieris napi japonica* Shirôzu, 1952  
津名町佐野での採集記録があるが、まだ確認していない。

シジミチヨウ科 LYCAENIDAE

28. ムラサキシジミ *Narathura japonica* (Murray, 1875)  
各地に普通に見られる。
29. アカシジミ *Japonica lutea* (Hewitson, 1865)  
筆者は採集していないが、藤平明氏が採集しておられる。
30. ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* (Hewitson, 1865)  
各地のクヌギ林にかなり多く発生しているようである。1972年6月、洲本市安乎町であまり大きくない1本のクヌギの木に5頭ほど止まっているのを確認した。
31. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* (Bremer, 1861)  
登日邦明氏が、津名町大町で採集されている。各地に産すると思うが、筆者はまだ採集していない。
32. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila japonicus* (Murray, 1875)  
筆者は洲本市安乎町で採集しており、登日邦明氏も津名町大町で採集しておられる。各地に産するものと思われる。
33. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* (Murray, 1875)  
筆者は洲本市安乎町や津名町塩田で採集している。南淡町の大日ダムでも採集されており、各地に産するものと思われる。

34. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* (Seitz, 1909)  
最普通種で、各地に多産する。
35. クロシジミ *Niphanda fusca* (Bremer, 1864)  
筆者は妙見山で採集しているが、津名町志筑の明神でも採集された記録がある。
36. ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767)  
各地に普通で秋には個体数が多い。12月になっても成虫の活動が見られる。
37. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia* (Ménétriès, 1857)  
最も普通で各地に多産する。
38. シルビアシジミ *Zizina otis emelina* (de l'Orza, 1869)  
各地に産し、個体数もかなり多い。
39. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* (de l'Orza, 1869)  
普通種で個体数も多い。
40. ツバメシジミ *Everes argiades hellotia* (Ménétriès, 1857)  
最普通種で各地に多産する。
41. ヒメシジミ *Plebejus argus micrargus* (Butler, 1881)  
武田義明氏が、南淡町の大日ダムで1♀を採集された。

ウラギンシジミ科 CURETIDAE

42. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de Niceville, 1901  
各地に普通で、秋には個体数が多い。

テングチヨウ科 LIBYTHEIDAE

43. テングチヨウ *Libythea celtis celtoides* Fruhstorfer, 1909  
各地に普通で、平地よりも山地に多い。

マダラチヨウ科 DANAIIDAE

44. アサギマダラ *Parantica sita nipponica* (Moore, 1883)  
平地にも見られるが、山地の樹林内に多い。

タテハチヨウ科 NYMPHALIDAE

45. ウラギンスジヒヨウモン *Argyronome laodice japonica* (Ménétrières, 1857)  
普通種で各地に産する。
46. ミドリヒヨウモン *Argynnis paphia geisha* Hemming, 1941  
各地に普通に見られる。
47. クモガタヒヨウモン *Argynnis anadyomene midas* Butler, 1866  
各地に産するが、個体数はあまり多くない。
48. メスグロヒヨウモン *Demora sagana liane* (Fruhstorfer, 1907)  
各地に普通であるが、個体数はそれほど多くない。
49. オオウラギンヒヨウモン *Fabriciana nerippe* (C. et R. Felder, 1862)  
各地に産するが、最近あまり見かけない。
50. ツマグロヒヨウモン *Argyreus hyperbius* (Linnaeus, 1763)  
各地に産するが、個体数はあまり多くない。
51. コミスジ *Neptis sappho intermedia* W. B. Fryer, 1877  
最も普通の種で各地に多い。
52. キタテハ *Polygonia c-aureum* (Linnaeus, 1758)  
各地に普通である。
53. ルリタテハ *Kaniska canace no-japonicum* (von Siebold, 1824)  
各地に普通で個体数も多い。
54. キベリタテハ *Nymphalis antiopa asopos* (Fruhstorfer, 1909)  
藤平明氏の目撃記録があるが、迷蝶と思われる。
55. ヒオドシチヨウ *Nymphalis xanthomelas japonica* (Stichel, 1902)  
各地に産するが、個体数はあまり多くない。
56. ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus, 1758)  
各地に普通で、最近個体数が多くなったように思う。
57. アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)  
各地に産するが、個体数はあまり多くない。
58. リユウキユウムラサキ *Hypolimnas bolina kezia* Betler, 1880  
1968年、藤平明氏が三原郡南淡町黒岩で1♂を採集された。もちろん迷蝶である。

59. スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotus* Fruhstorfer,  
1903

武田義明氏が、南淡町円実で採集されたとのことである。三熊山での目録記録もあるが、筆者はまだ採集していない。

60. ゴマダラチヨウ *Hestina japonica* (C. et R. Felder, 1862)

各地に産し、先山などの山地では個体数が多い。

ジャノメチヨウ科 SATYRIDAE

61. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler, 1866

最も普通の種で、各地に多産する。

62. ウラナミジャノメ *Ypthima motschulskyi* (Bremer et Grey, 1853)

筆者は洲本市由良町で採集したが、個体数は少ないようである。

63. ジャノメチヨウ *Minois dryas bipunctatus* (Motschulsky, 1860)

各地に普通であるが、個体数はそれほど多くない。

64. ヒカゲチヨウ *Lethe sicelis* (Hewitson, 1862)

各地に普通で個体数も多い。

65. クロヒカゲ *Lethe diana* (Butler, 1866)

各地で採集されているが、個体数は多くないようである。

66. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (Ménétrières, 1855)

各地に普通で個体数も多い。

67. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer, 1911

各地に普通である。

68. コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* Hewitson, 1862

各地に普通で個体数も多い。

69. クロコノマチヨウ *Melanitis phedima oitensis* Matsumura, 1919

1971年8月 武田義明氏が、洲本市相川で採集された。他に記録はないが、定着しているものと思われる。

(1972. 12. 2)